

## ハクビシン



### 【由来】

食肉目ジャコウネコ科。もともとは中国南東部、台湾、インド、東南アジアにかけて広く分布する南方系の動物です。古くは江戸時代に持ち込まれた記録もあり、東南アジアの各地から繰り返し持ち込まれたと推測されています。現在では東北南部から中部、東海、四国を中心に分布が広がっています。

### 【環境】

森林を含むさまざまな場所でみられます。人間の住環境にも出没します。

### 【行動】

夜間を中心に夕方や朝方等、陽のある時間帯も活動します。樹上のうろ、他の哺乳類の巣穴、納屋や家屋、寺社仏閣の屋根裏等をねぐらにしたり、子育ての場所にしたりします。ねぐらは複数持ちます。木や柱に登るのが得意です。

### 【繁殖】

1年に1回、夏から秋にかけて多く産む傾向にありますが、1年中出産します。1度に平均2~3頭出産します。妊娠期間は約2ヶ月で、出産を開始するのは生後10ヶ月以降です。

### 【食物】

雑食性で、果実や野菜等の農作物、小動物、昆虫、鳥類やその卵を食べます。好物は果物です。生ごみをあさることもあります。

### 【法制度上の位置づけ】

「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」(鳥獣保護管理法)に基づく狩猟鳥獣で、狩猟期間に捕獲を行うことができます。

「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」(通称「生態系被害防止外来種リスト」)において総合対策外来種(重点対策外来種)に選定されています。